

製品名: サイクリン T1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85475**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 81 kDa; Observed MW: 81 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cyclin T1
別名	CCNT; CYCT1; HIVE1
遺伝子 ID	904.0
SwissProt ID	O60563
免疫原	ヒトサイクリン T1 の組み換えタンパク質

背景

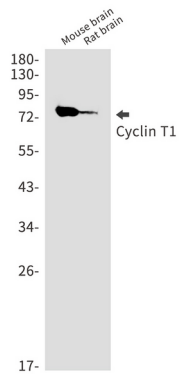
サイクリン依存性キナーゼペア (CDK9/サイクリン-T1) 複合体の調節サブユニット。正の転写伸長因子 B (P-TEFb) とも呼ばれ、RNA

ポリメラーゼ II (RNA Pol II) の大サブユニットの CTD (カルボキシ末端ドメイン) をリン酸化することで、不完全伸長から生産的伸長への移行を促進すると考えられています。

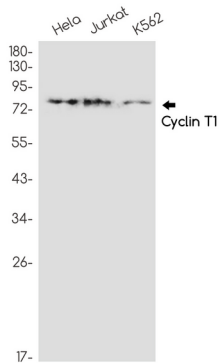
研究分野

-

画像データ



サイクリン T1 抗体を使用したマウス脳、ラット脳溶解物中のサイクリン T1 のウェスタンブロット分析。



Cyclin T1 抗体を使用した、Hela、Jurkat、K562 溶解物中の Cyclin T1 のウェスタンブロット分析。